

# 田原小だより



第680号

令和4年2月28日

台東区立田原小学校

校長 佐藤 貴生

創立110周年の年 ありがとうございます。

校長 佐藤 貴生

校庭の日差しも柔らかさとともに一日一日明るさを増してきました。

早いもので令和3年度の一年間もあと1ヶ月となりました。3月は、進級・進学を控えたまとめの月です。一年間の振り返りを丁寧に行うとともに新年度の準備も進めていきます。また、6年生にとっては小学校生活最後の月です。送る会、卒業式等で感謝の気持ちを大切にして、毎日充実して新たな楽しい思い出をつくり、中学校へ巣立って行ってほしいと願います。

さて去る2月19日北京冬季オリンピックが、17日間の熱戦に幕を閉じました。多くのメダルを獲得しましたが、ベテラン選手に混じって、若い選手の躍進が目立ったオリンピックでもありました。若手選手の無限の力に驚かされました。しかし、その陰には、絶え間ない努力が紛れもなくあることも知りました。どの選手も競技の後には満面の笑顔で、お互いの健闘を認め合い、支えてくださった方々に感謝の気持ちを伝える姿やたとえ失敗してもその新しい技のチャレンジに他国の選手と抱き合い称える姿にも感動しました。

田原小の子供たちも、この一年間の成長は目を見張るものがありました。体の成長はもちろんのこと、心の成長や知識・技能でも大きく伸びました。実際に、子供たちが自分の成長を実感するのは、それまでできなかったことができるようになった時です。この機を逃さず、ともに喜びを分かち合うことは、子供の成長を支える大人の大切な役割だと考えます。その子供が目標を努力してできた時の達成感は、次のステップへの意欲につながり、更なる成長への礎となります。御家庭においてもこの一年間の成長を見つめ直したり、振り返ったりして、じっくり話し合う時間をもってください。子供が、学校でも家庭でも努力が認められることで、自己肯定感を高めることができます。

結びになりますが、今年度は、田原小学校にとって創立110周年の節目を迎え、運動会や記念式典、誕生集会、展覧会などの大きな行事を実施していく中でも、子供たちの成長を実感することができました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定した内容とは変更せざるを得ない状況でしたが、「記憶に残る110周年」、「コロナ禍でも今できることをやる」を目標にして教育活動を進めてきました。様々な活動を効果的に展開できたのは、子供たち一人一人のがんばりはもちろんのこと、関係町会をはじめとする地域の皆様、中村会長様・PTA役員そして保護者の皆様に支えていただいたおかげと強く感じています。地域と保護者と学校が「深い絆」で結ばれた一年であったように感じます。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

来年度創立111周年の年も子供たちの健やかな成長を願い、教職員一同「チーム田原」全力で取り組んで参ります。

## 生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

2月の生活指導月目標は『寒さに負けない体を作ろう』でした。田原っ子たちは持久走大会に向けて、体育の授業で一生懸命走ったり、学校外で走ったりして頑張っている様子が見られます。リバーサイドで行うことはできなくなりましたが、これからも運動を続けて寒さに負けない体を作っていくってほしいと思います。

3月の生活指導目標は『新しい学年に向けての準備をしよう』です。1年間の自分の成長を振り返り、新しい学年に向けて気持ちの準備をしたり、1年間使った教室や机をきれいにしたり、持ち物の整理整頓したりして気持ちも新たに次の学年に進めるよう各学級で声をかけていきたいと思っています。